

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 福島森林管理署、会津森林管理署
所在地	福島県 福島市
面積	8, 197. 69 ha
設定年	1994(H6)年 4月
保護林の概要 (設定目的)	吾妻山周辺森林生態系保護地域は、吾妻連峰一帯に賦存するオオシラビソを主体とした亜高山帯針葉樹からなる原生的な森林と、湿原、雪田草原、瀑布等の変化に富んだ景観を有し、さらには、本地域を南限または北限とする植物の分布、原生的な森林に生息する貴重な動物類がみられる等自然に恵まれた地域である。このため、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、キタゴヨウ群落、オオシラビソ群落、高山ハイデ・風衝地群落、湿原・雪田植物群落、ササ自然草原において、調査プロットを合計12箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に7つの調査ルート設定し、森林生態系保護地域内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	キタゴヨウ群落、オオシラビソ群落ともに変化は確認されず健全に維持されている。その他、本森林生態系保護地域を代表する低木群落等調査、また、動物調査についても前回調査と比較し、特に変化は確認されなかった。病虫獣害による影響も確認されず、本森林生態系保護地域は健全な状態で維持されている。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。